

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	SUPRA ENZO		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

テストボール：SUPRA ENZO

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

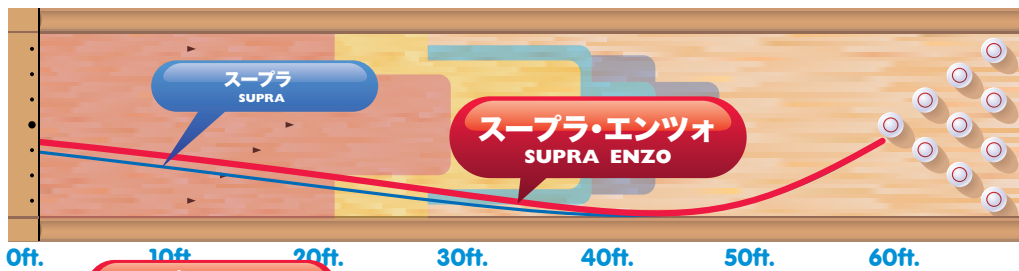
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：SUPRA

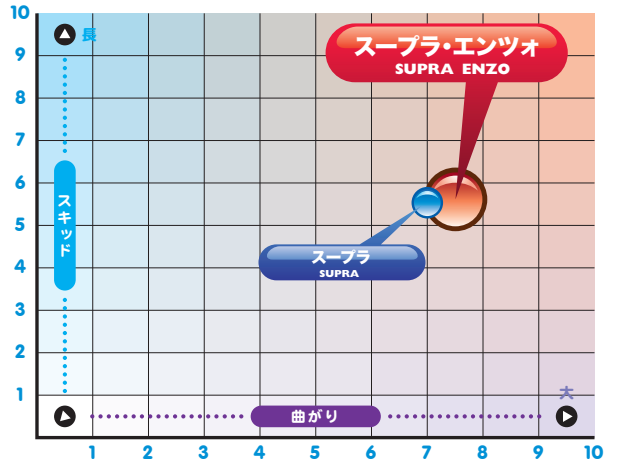
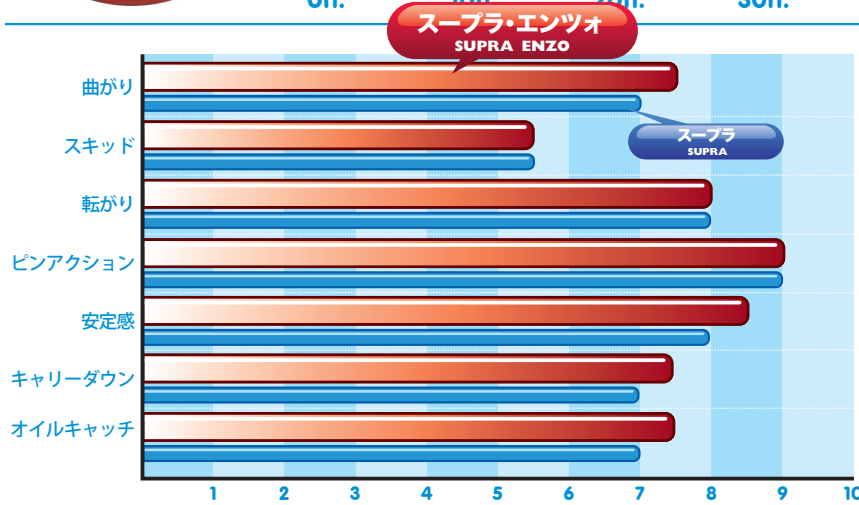
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

SUPRAの魅力は何と言ってもバックエンドの動きの鋭さでしょう。MOTIVがSUPRAに求める性能は、ライトミディアムなコンディションやゲームが進行しオイルが徐々に薄くなってきた時にでもトラクションを犠牲にすることなく、ブレイクポイントでしっかりと向きを変え角度のある曲がりを出すことにあります。このSUPRA ENZOは初代SUPRAのInfusion PearlカバーストックからInfusion Hybridカバーストックに変更され、より多様性をもって仕上げられてきたと思います。

見た目は赤と黒が基調の配色でイエローのマーキングはどこかスポーティーな印象を持たせる仕上がりです。PearlからHybrid素材に変わった恩恵はスキッドとキャッチに現れ、ライトミディアムという領域は変わらないものの、オイルに乗ると走り過ぎたり、ドライエリアでは動き過ぎたりという激しさは軽減され、走りが優先されている部分は変わりませんが、よりコンディション対応の幅は広がった感じはMOTIVがSUPRA ENZOで表現したかったことだと思います。

私は今まで薄いコンディションだった場合他のブランドのボールを選んできましたが、このSUPRA ENZOが出てきたので一気に一番の候補に昇りつめました。以前からSUPRAに使用されているHigh Impulseコアはテクニカル上オイルが薄い時に使用できるよう吟味されたコアで、特性上高いRGによりレーンの前半ではゆっくりと回転するので、手前から起き上がるとうとしないことが後半エネルギーを残すことになり、後半になるにつれて回転速度が上がります。そして実質的な0.050のディファレンシャルが軸移動の大きさを担い、一気に向きを変えます。明らかにPearl素材のSUPRAよりオイルに対しての安定感は改良されていますし、Hybridになったからといって極端にキャッチが強まっている訳ではなく、ライトミディアム領域に焦点をあてたボールになっています。

特記事項

何処かスポーティーな外車を思わせる外観で、初代SUPRAよりワンランク上の仕上がりはライトミディアム領域でより多様性を感じる仕上がりです。